

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表: 2021 年 2 月 15 日

事業所名: キッズハウスフレンド

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|-------------|----|---|----|---------------|-----|-------------------------------------|----------------------------------|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | ○ | | | 外遊びを取り入れたりしている。 | 利用人数が多い時は、パーテーション等を使い配慮する。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | ○ | | | 職員調整している。 | 送迎等の人数も配慮して職員も配置をする。 |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | ○ | | | | |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | ○ | | | 日々のミーティングや個別支援会議等活用し、職員が参画している。 | PDCAサイクルを周知し活用する。 |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | ○ | | | 12月に保護者へのアンケートを実施しているので結果をみんなで周知する。 | |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | ○ | | | ホームページにて公開している。 | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | ○ | | | | |
| 適切な支援の提供 | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | | ○ | | | 研修等、積極的に参加していけるように体制を整えていく。 |
| | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | ○ | | | | 感覚遊びやビジョントレーニングなど様々なツールを取り入れている。 |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | ○ | | | | |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | ○ | | | 毎月同じにならないように工夫している。 | |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | ○ | | | | |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | | |
| | 15 | 支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | ○ | | | | |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | ○ | | | その都度、次の日やミーティング等で支援の振り返りをしている。 | |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ○ | | | | |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ | | | | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | ガイドラインに基づいて活動を決めている。 | |

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|----------------------------|---|----|---------------|-----|------------------------|--|
| 関係機関 や保護者 との連携 関係 | 20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | ○ | | | 個々の状況を月1回、職員会議を行っている。 | |
| | 21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | ○ | | | 保護者や学校の先生からの情報を共有している。 | |
| | 22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | ○ | | | | |
| | 23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | ○ | | | | |
| | 24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | ○ | | | | 該当者なし |
| | 25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | ○ | | | | お願いすることがあったり、紹介はしている。 |
| | 26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | ○ | | | | |
| | 27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | ○ | | | | コロナの状況でなかなか参加ができていない。 |
| | 28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | | | | |
| 保護者 への説明 責任等 | 29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | ○ | | | | 保護者へのペアトレは一度もしていないがその都度問題があればお伝えし支援している。今後、検討する。 |
| | 30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | | | | 説明している。 |
| | 31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ○ | | | | 支援している。 |
| | 32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | ○ | | | | 12月に保護者会を行い、交流を図っている。 |
| | 33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ | | | | |
| | 34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | ○ | | | | おたよりを月1回配布している。 |
| | 35 個人情報に十分注意しているか | ○ | | | | |
| | 36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ○ | | | | 配慮している。 |
| | 37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | ○ | | | | 出来ている。 |

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|-----------------|---|----|---------------|-----|---------|------------------------------|
| 非常時 等の 対応 | 38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応 マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | ○ | | | | |
| | 39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他 必要な訓練を行っているか | ○ | | | | |
| | 40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する 等、適切な対応をしているか | ○ | | | | 年1回の研修があり、職員へ伝達してい る。 |
| | 41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかにつ いて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説 明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に 記載しているか | ○ | | | | 拘束する児童はいない。 |
| | 42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示 書に基づく対応がされているか | ○ | | | | アレルギーのある児童はいない。 |
| | 43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有してい るか | ○ | | | | 他職員に報告し、情報共有に努めてい る。 |

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。